



凡 例

輪郭構造
滑落崖と側方崖
新鮮なまたは開析されていない冠頂をもつ滑落崖
部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖
冠頂が著しく開析された滑落崖
冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑落崖
開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置
共通の冠頂をもち、互いに反対方向を向く滑落崖
中・緩斜の流れ盤すべり面が地表に露出し、滑落崖にあたる急崖を呈しない斜面。冠頂は尾根の反対側斜面とすべり面との交線である。
後方崖、多重接線等
移動体の輪郭・境界
後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が明瞭ないし判定可能
後方の滑落崖は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難
滑落崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部(不安定土塊)が残存している
ほかの移動体や堆積物におおわれた部分
斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲
斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘
脚部線・削斜面下限
内部構造
二次・小滑落崖、崖線の開析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす
サブユニットの境界、内部(二次)移動体輪郭
移動体内の小尾根
幅の広い溝状凹地、亀裂
幅の狭い溝状凹地、亀裂
移動方向等
移動体の主移動方向。
すべり
クリープ(爬行)
流れ・押出し
落石など
前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向
元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向
その他
遺急線
活断層(地すべりを変位させている顕著な断層)
地層面等および節理・断層の走向・傾斜

行政區画
索引図
朝日岳 荒砥 山形
(村上) (仙台)
手子 上山
玉庭 米沢 関
(新潟) (福島)
()内は所属20万分1図の図名
山形県
1.長井市 2.西置賜郡 3.南陽市 4.東置賜郡
5.上山市

1:50,000 赤 湯
1000 0 1000 2000 3000
この地図の作成に当たっては、建設省国土地理院発行の5万分の1地形図を使用しました。(承認番号)昭62、総使 第15号 許可なく複製を禁ずる
調査者 清水文健・大八木規夫
by Fumitake SHIMIZU
Norio OYAGI
L M-96